

◆ 特別講話について ◆

◇ 講 師 筑波大学
数理物質系教授

中井 直正 先生

◇ 演 題 「太陽系外の惑星の探査」
◇ 日 時 8月5日(月) 15:15~16:45

◇ 会 場 筑波大学 大学会館ホール

◇ 講演要旨 太陽以外の星が持つ惑星を見つけようという試みは1950年代からあったが技術の進歩などで1995年に初めて太陽系外の惑星が発見された。それ以降現在までに800個ほどが見つかっており、可能性のある候補天体まで含めると2000個以上ある。講演ではこのような系外惑星の発見のいきさつや探査の現状を概観したあと、優れた研究やあっと驚く大発見をするためには何が大切かを述べる。



◇ 講師プロフィール

1980年3月	関西学院大学理学部物理学科卒業
1982年3月	名古屋大学大学院理学研究科修士課程修了
1985年3月	東京大学大学院理学系研究科天文学専攻 第1種博士課程修了(理学博士)
1985年4月	日本学術振興会奨励研究員
1986年	東京大学東京天文台野辺山宇宙電波観測所研究員
1987年	日本学術振興会特別研究員
1988年	東京大学理学部天文学教育研究センター助手
1989年	国立天文台電波天文学研究系助手
1993年	国立天文台電波天文学研究系助教授
1997年	国立天文台電波天文学研究系教授
1998年	国立天文台電波天文学研究系研究主幹(併任)
2002年	国立天文台野辺山宇宙電波観測所長(併任)
2004年	筑波大学大学院数理物質科学研究科物理学専攻教授 現在に至る
受賞歴:	1996年12月 第42回仁科記念賞(中井、井上、三好)
	1998年3月 日本天文学会欧文研究報告論文賞(久野、中井)
	2008年6月 2008年度日本学士院賞
	2012年3月 日本天文学会欧文研究報告論文賞(久野、中井、他8名)

◇ 専門 電波天文学
銀河、ブラックホールなどの観測的研究。南極天文学の推進